

第67期第2四半期決算参考資料

イワブチ株式会社

IWABUCHI CORPORATION

JASDAQ 証券コード 5983

平成28年10月31日

平成29年3月期第2四半期の業績



当社グループの大口需要家であります電力会社においては、原子力発電停止に伴う代替発電燃料費増加の影響に加え、今年度より開始された電力小売全面自由化による新電力への切り替えや、今後予定されている送配電部門の法的分離などにより、事業環境が大きく変化しております。N T Tにおいても、光サービスの提供エリアがほぼ充足したことから、当社グループに関連した設備投資が抑制傾向となっており、厳しい受注環境となっております。

このような状況のなか、当社グループの生産部門では、子会社を含め設備ならびに業務の効率化によるコスト削減や品質管理の推進、顧客ニーズに応じた生産体制の構築を図り、価格競争力のある製品の生産に取り組みました。

営業部門では、電力会社・N T T向け新製品の市場投入をはじめ、コンクリート柱の建替関連製品、街路灯・防犯灯L E D化関連製品の拡販、また新規需要に向けた活動など積極的な営業を展開しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,633百万円と前年同期に比べ363百万円、7.3%の減収となりました。経常利益は152百万円と前年同期に比べ282百万円、64.9%の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円と前年同期に比べ151百万円、56.3%の減益となりました。

■ 平成29年3月期第2四半期連結決算概要(P/L)

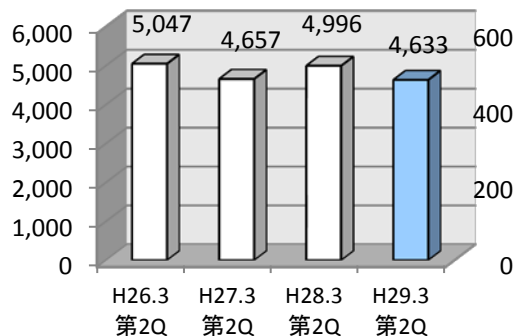
いつも、そばで、暮らしにつながる

単位:百万円

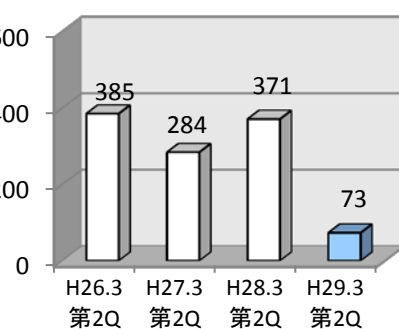
	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期
売上高	5,047	4,657	4,996	4,633
営業利益	385	284	371	73
経常利益	469	380	435	152
親会社株主に帰属する 四半期純利益	306	278	269	117
1株当たり四半期純利益※	279円6銭	253円62銭	248円37銭	109円84銭

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で併合しており、各連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算出しております。

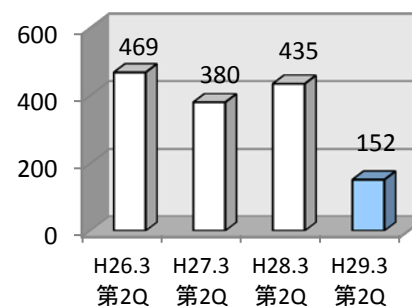
売上高



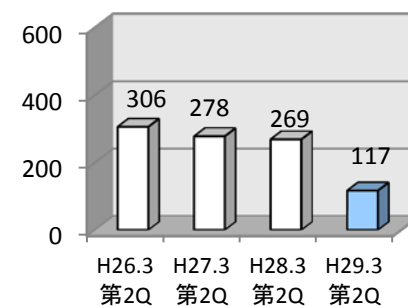
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益



貸借対照表

単位:百万円

	平成28年3月期	平成29年3月期第2四半期	増減額
流動資産	11,072	10,791	△ 281
有形固定資産	6,011	6,024	+ 13
無形固定資産	155	126	△ 29
投資その他の資産	1,478	1,480	+ 2
資産合計	18,719	18,423	△ 296
流動負債	2,289	2,117	△ 172
固定負債	1,138	1,123	△ 15
純資産	15,291	15,182	△ 109
負債純資産合計	18,719	18,423	△ 296

キャッシュ・フロー計算書

	平成28年3月期第2四半期	平成29年3月期第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	556	654	+ 98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 94	△ 170	△ 76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 356	△ 139	+ 217
現金及び現金同等物の増減額	103	325	+ 222
現金及び現金同等物の期首残高	3,157	3,373	+ 216
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,260	3,698	+ 438

需要分野別売上高(連結)分析(平成29年3月期第2四半期) いつも、そばで、暮らしにつながる

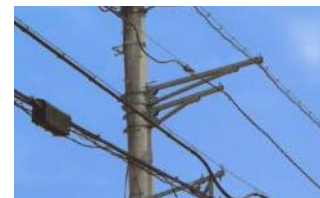
売上高合計: 4,633百万円



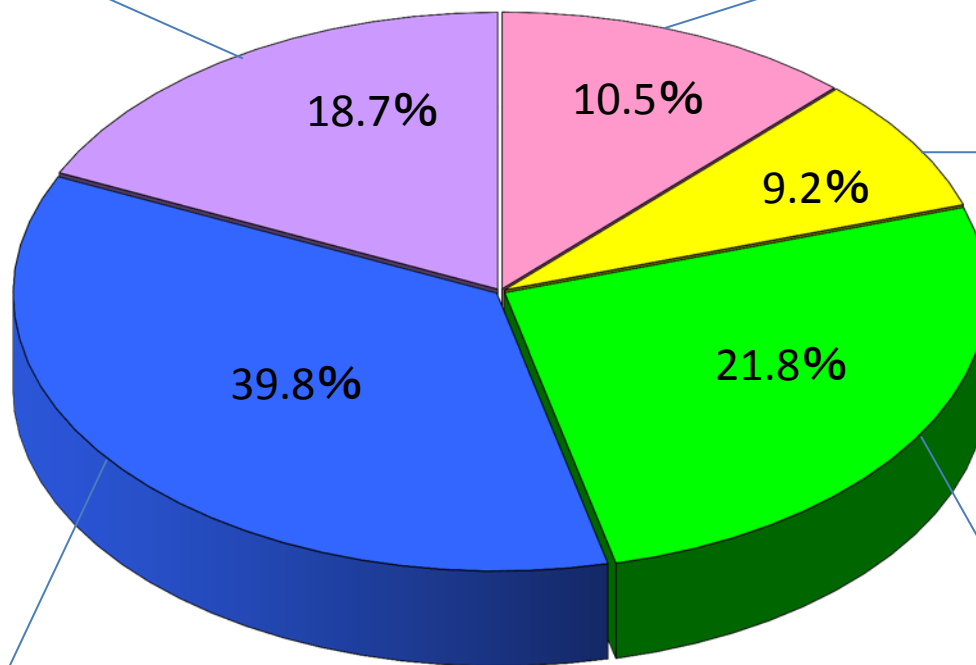
■ その他



■ 交通信号・標識・
学校体育施設関連



■ ブロードバンド・
防災無線関連



■ 配電線路関連

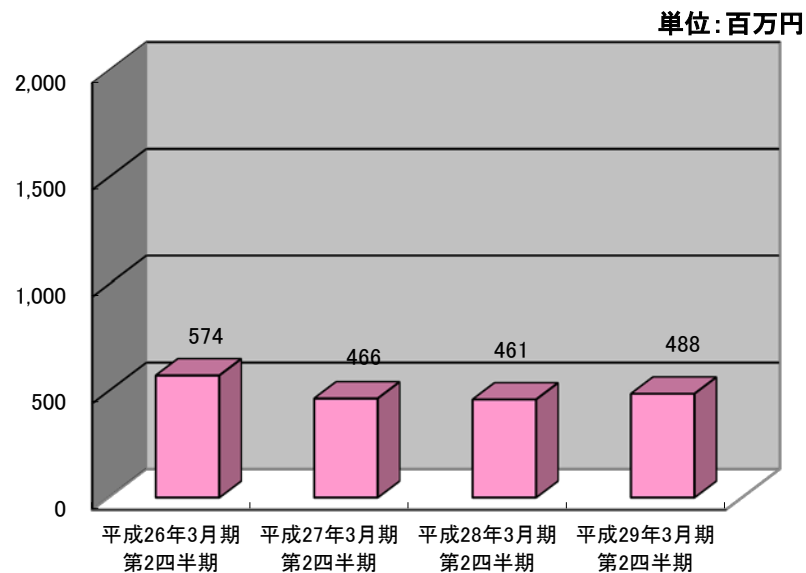


■ 情報通信・電話関連

交通信号・標識関連は、全国的にコンクリート柱の建替や信号機のLED化工事などにより堅調に推移しました。また、学校体育施設関連についても、防塵ネットに関係した工事などがあり、好調に推移しました。その結果、売上高は488百万円と前年同期に比べ27百万円、6.0%の増収となりました。



信号灯器取付金物



標識取付用金物

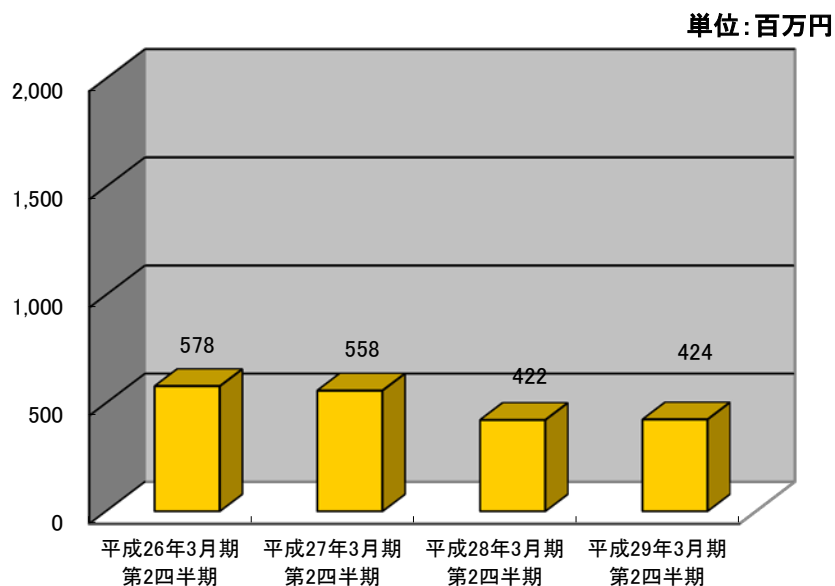


防球ネット用品

防災無線関連は、全国的に新規工事が立ち上がり堅調に推移しました。ブロードバンド関連は、市場価格の厳しい状況が続いておりますが、当第2四半期においては、新規物件工事が東日本エリアで立ち上がり、堅調となりました。その結果、売上高は424百万円と前年同期並みとなりました。



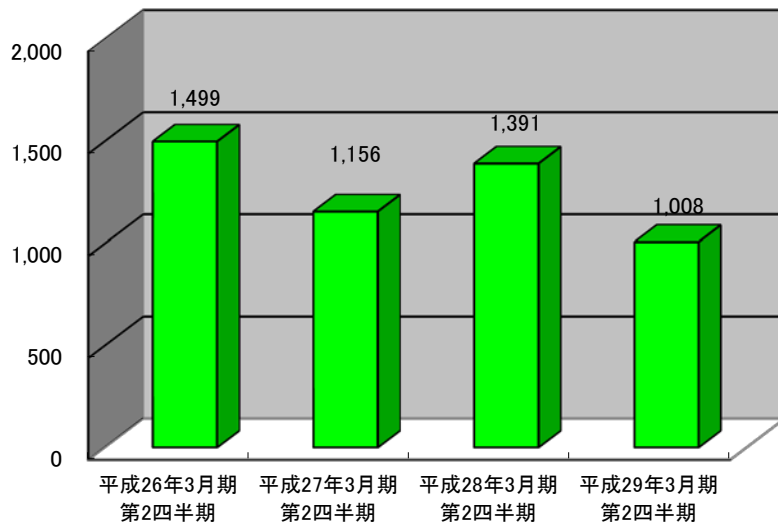
ブロードバンド用品



防災無線用品

情報通信関連は、設備投資抑制の影響により、移動体アンテナ設置工事および光伝送路工事が低調に推移しました。電話関連は、当社グループに関連した設備投資が一巡したことや昨年度好調に推移しましたコンクリート柱の建替関連製品の受注が一段落したことから低調に推移しました。その結果、売上高は1,008百万円と前年同期に比べ383百万円、27.5%の減収となりました。

単位：百万円

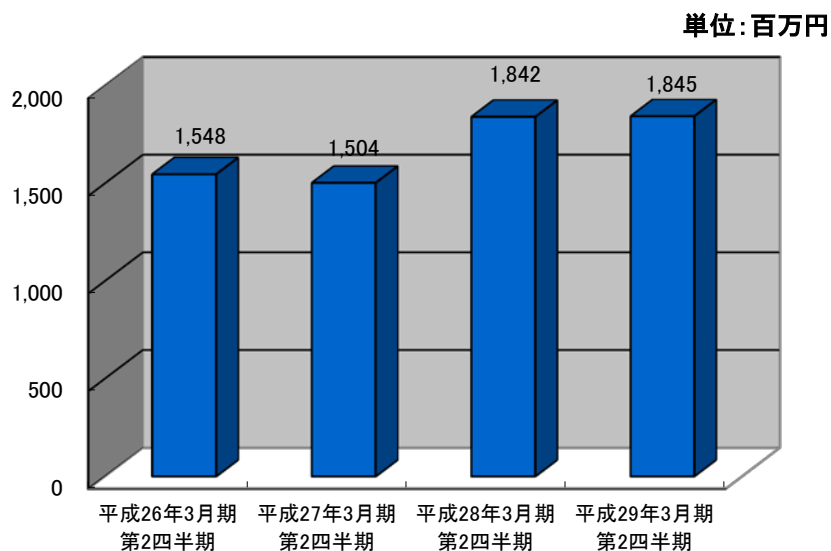


電話関連用品



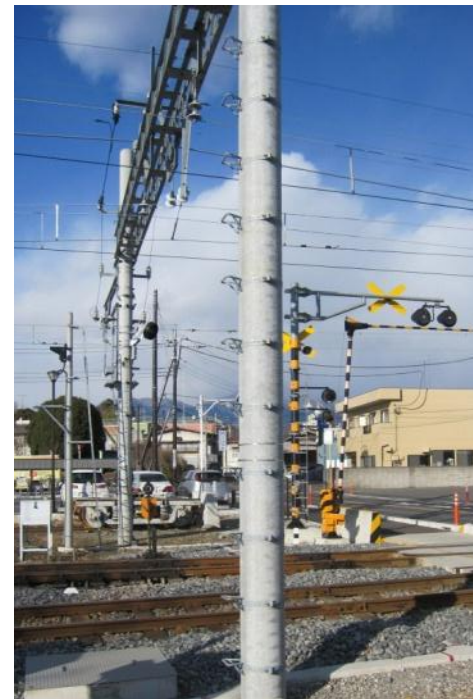
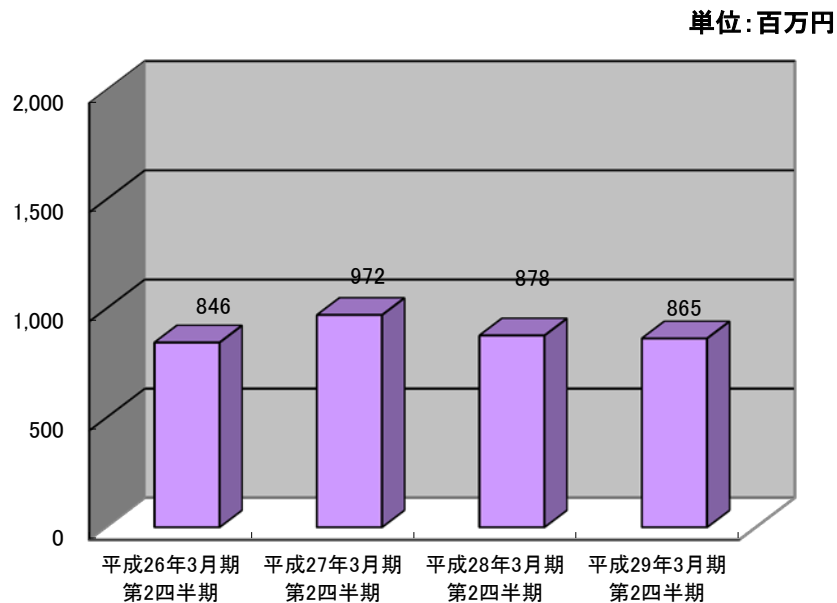
情報通信関連用品

配電線路関連は、原子力発電停止に伴う代替発電燃料費増加の影響に加え、今年度より開始された電力小売全面自由化などにより、依然設備投資は抑制傾向にあります。新製品の市場投入など、受注確保に努めました。その結果、売上高は1,845百万円と前年同期並みとなりました。



配電線路関連用品

一般民需、公共工事関連は、街路灯・防犯灯LED化工事などがあり、堅調に推移しました。また、鉄道関連においても、コンクリート柱建替に伴う付帯工事が堅調に推移しました。その結果、売上高は865百万円と前年同期並みとなりました。



鉄道関連用品



LED防犯灯取付金物

■ 平成29年3月期の連結業績予想

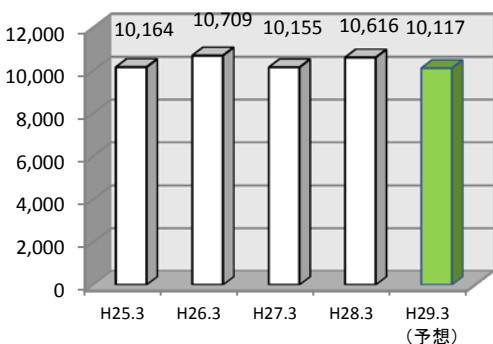
いつも、そばで、暮らしにつながる

単位：百万円

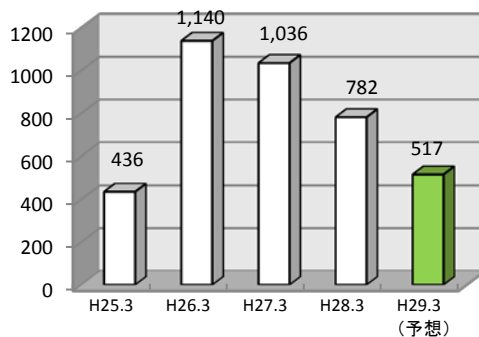
	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期 (予想)
売上高	10,164	10,709	10,155	10,616	10,117
営業利益	436	1,140	1,036	782	517
経常利益	536	1,283	1,139	947	642
親会社株主に帰属する 当期純利益	362	689	752	613	444
1株当たり当期純利益※	330円25銭	627円10銭	684円52銭	568円47銭	413円53銭

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で併合しており、各連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算出しております。

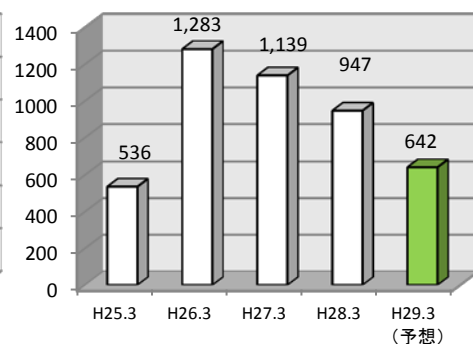
売上高



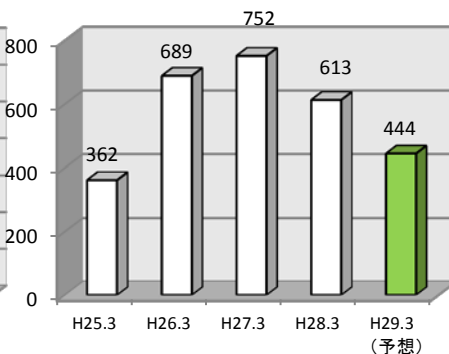
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



資料取扱上のご注意

本資料は、現時点における経営環境予想に基づいております。よって、本資料において、当社グループの今後の業績を保証するものではないことを、ご承知おきください。